

京都丹後鉄道が KTR300 形の新車両『KTR302 号』を運行開始

～ボディカラーは、丹後の歴史を秘めた山々の深い森を表現した「千歳緑」色～

京都丹後鉄道(以下「丹鉄」)を運行する WILLER TRAINS 株式会社(代表取締役:寒竹聖一)は、『MF100 形/MF200 形』の後継車両として新型車両 KTR300 形を導入しており、2019 年 5 月より運行開始した『KTR301 号』に引き続き、2020 年 3 月 14 日(土)より『KTR302 号』を宮福線にて運行開始します。



本車両のボディカラーは、丹後の自然と歴史と伝説がコンセプトで、「丹後の歴史を秘めた山々の深い森」を表現し、大江山の鬼伝説の青鬼のような力強さと緑の優しさを併せ持つ「千歳緑」色を採用しています。

デザインは、丹後地方のいにしえから現在の歴史や伝説の舞台となった山々と天橋立をはじめとする丹後の海がコンセプトで、外観は車両を囲むように配置された 3 本の帯に気品を示すゴールドのグラデーションを取り入れ、海のさざ波と山々に漂う朝霧を表現しています。車内はシックなインテリアで統一し、車窓から見える天橋立の情景をモチーフとして、細かいさざ波を表現した青いシートや床は一面に広がる海を、茶色の壁や窓柱は海辺に林立する松林を、細かい木目を配置した天井は伸びやかな砂浜を、それぞれ表現しています。

車内には、無料でネットワーク接続が可能な『WILLER_Free_Wi-Fi』、各席に配置された PC やスマートフォン端末等の充電が可能な USB ポート、ベビーカーや車いすの方も安心してご利用いただくことができる多機能トイレなどを設置しており、機能面も充実させています。

安全面においては、霧や積雪が多い丹鉄沿線でより安全に運行するために、フォグランプや耐雪ブレーキを装備するとともに、さらに車両前方部分の強度もあげています。また、これまで以上に環境に配慮するために、エンジンには排気ガス成分のクリーン化が可能なコモンレール式ディーゼルエンジンを採用し、車両の軽量化による燃費向上も実現しています。

『KTR300 形』は『MF100 形/MF200 形』の後継車両として順次入れ替えており、2022 年までに同形車両をあと 3 両導入し、計 5 両で運行予定です。

京都丹後鉄道は、これからも沿線地域の皆様に愛される鉄道を目指していきます。

■グッズ販売

新車両運行開始に合わせ、3月13日(金)より宮津駅構内にあるカプセルトイレにて、新デザインのピンバッジを発売します。ピンバッジのデザインは、新車両『KTR302号』と、今後新車両導入に伴い順次引退する『MF100形/MF200形』(2種類)の、合計3種類があります。

料金:1回500円



左から順に「MF100形」・「KTR302」・「MF200形」

■新型車両概要

旅客定員数 | 座席:41人 立積:64人 合計:105人

最大寸法 | 最大長:18,500mm

車体長:18,000mm 最大幅:3160.4mm

車両重量 | 33.6t(空車時)

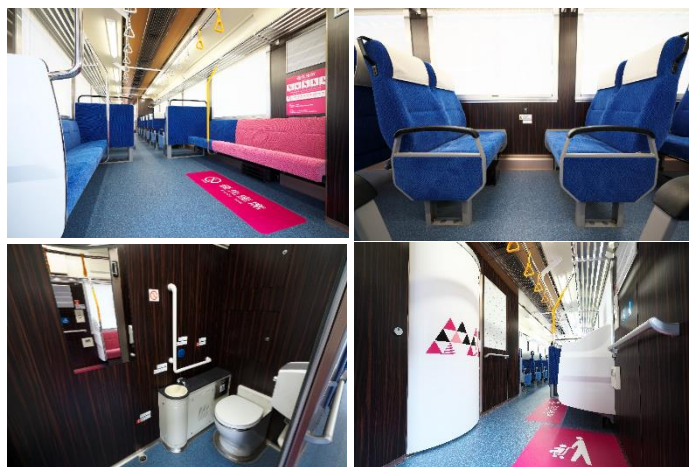
運賃表示器 | 液晶式 2台

座席 | 転換クロスシート ロングシート

トイレ | 車いす対応多機能トイレ

照明 | LED(車内・行先表示機・ヘッドライト)

設備 | USBポートあり、車内無料Wi-Fiあり



新型車両車内イメージ

■WILLER TRAINS 株式会社 会社概要

【所在地】京都府宮津市宇鶴賀 2065-4

【代表者】代表取締役 寒竹聖一

【設立】2014年7月

【事業内容】第二種鉄道事業

以上